

総額46億8900万円

委員会での詳しい審議内容は
能勢町ホームページでご覧いただけます。

総務民生常任委員会報告

委員長 中西 顕治

3月15日、19日に本委員会に付託されました「平成30年度能勢町一般会計予算」のうち、総務部、健康福祉部、出納室、議会事務局の予算内容を審議した結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

問 地方路線バス維持補助金について

答 鉄軌道のない本町では、路線バスが存在する意義は大きい。福祉バスから現在の交通空白地有償運送等時代とニーズに沿った移動手段を確保してきた。

今後も住民同士の助け合いによる移動手段の確保等新たな社会的ニーズや動向に注視し取り組みたい。



問 旧学校の活用について

答 公共施設再編整備事業として、本庁舎周辺の再編整備（旧久佐々小学校本校舎解体）と東地区公共施設再編整備（旧歌垣小学校への機能統合・旧東郷小学校再編整備）の基本設計業務に取り組む。

問 CSW（コミュニティソーシャルワーカー）の活動と資格について。

答 地域の相談等から住民の思いに寄り添い個々の課題に関連した組織へのつなぎ役として取り組む。

CSWに資格の定めはないが、大阪府等が実施する研修の受講や社会福祉士等の関連資格をもって選任し、当面4名を配置する。

問 防災行政無線整備について

答 各区にサイレン、スピーカーを設置し、警戒警報をリアルタイムに伝達するための整備に取り組む。

問 住民歯科検診の実施について

答 口腔内の衛生環境を保つことは重要であり、節目の年に受診を勧めるもの。

本年度より、全住民を対象に年度末対象年齢（40歳、50歳、60歳、70歳）を迎える方に受診案内を送付し、10月から12月の3か月間に受診するスケジュールで取り組む。

検診費用は500円を負担していただく。